

No.	区分	氏名	学部・研究科	内容
1	個人	前田 真太郎	政治経済学部	半年間の休学期間をもって、アメリカとニュージーランドの国立公園でのボランティアポジションに従事。(特にアメリカマウントレーニア国立公園は従事に難しいとされている)その経験を元に、2004年には、学生代表としてスタッフを統括して平均年齢20歳の若者1000人を動員し、卓越したリーダーシップ発揮の下、「富士山清掃プロジェクト」を大成功に導く。
2	個人	朝隈 和幸	法学部	第53回全日本学生法律討論会 質問の部 第1位 主催:全日本学生法学連盟
3	個人	佐藤 朝子	法学部	合気道部女子 主将 第35回・第36回全日本学生合気道競技大会 女子乱取り競技団体戦 1位
4	個人	宮島 朝子	法学部	第54回全日本学生法律討論会 立論の部 第1位 主催:全日本学生法学連盟
5	個人	肥沼 信吾	商学部	第58回学生広告論文電通賞 第1部・大学生個人の部 1位 主催:(株)電通 後援:文部科学省
6	個人	森山 真至	第一文学部	2005年度 第18回ACC学生CMコンクール ラジオCM部門 銅賞 主催:ACC(全日本シーエム放送連盟)
7	個人	安方 綾	第一文学部	「早稲田祭2004」運営スタッフ代表 6年ぶりに開催された「早稲田祭2002」から3年間継続して運営スタッフに携わり、2004年にはその集大成として250人の運営スタッフの「代表」に就任する。15万人の来場者を迎える成功を収め、新生「早稲田祭」を本格的に軌道に乗せる。
8	個人	山本 祐千	第二文学部	レスリング部有志による障がい児および家族を対象としたレスリング教室開催の中心人物(ワセダクラブ・レスリングディビジョン専任コーチ・事務局)。体育会運動部の中にあつて技量の向上のみならず、スポーツと社会貢献の実践活動を通じて、今後の早稲田大学競技スポーツセンター各部の社会貢献活動に新たな一歩を印す。
9	個人	近藤 絵梨佳	教育学部	ア式蹴球部女子 主将 第14回全日本大学女子サッカー選手権大会 女子サッカー 優勝
10	個人	山下 美沙子	教育学部	第80・81回日本学生選手権水泳競技大会 女子飛板飛込・高飛込 優勝
11	個人	綿矢 りさ	教育学部	2004年 第130回芥川賞 受賞 (「蹴りたい背中」)
12	個人	古林 陽介	理工学部	平成17年度 全国早稲田学生会連盟(全早連)委員長としてリーダーシップを発揮(地方学生会の会(稲門会)の全国規模での統括組織)。委員長就任年度では、熊本映画「聞こゆるや」先行上映、「郷土料理販売イベント」、「九十九里浜清掃ボランティア」を始めとした数々の企画をもって各地方学生会の相互の親睦・連携を促進し、各学生会の育成発展を図り、結果、近年沈滞化傾向にあつた流れを変え、「熊本・岐阜・福井」の3稲門会が新たに設立され、その数を35とし、今後の活性化の起点の年となる。
13	個人	江戸 寛	社会科学部	庭球部 主将 平成17年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子 優勝
14	個人	河田 優	社会科学部	第23回ユニバーシアード 代表 2005トルコノイズミル大会 女子サッカー 3位
15	個人	新井 悠馬	人間科学部	ソフトボール部 主将 第40回全日本大学ソフトボール選手権大会 優勝
16	個人	北村 和也	人間科学部	第87・88回日本陸上競技選手権 リレー競技会 4x100mリレー 優勝 第23回ユニバーシアード 代表 2005トルコノイズミル大会 4x100mリレー 2位
17	個人	熊倉 美咲	人間科学部	第81・82・83回全日本選手権競漕大会 女子舵手付クオドルブル 優勝 第29・30・31回全日本大学選手権競漕大会 女子シングルスカル 女子舵手付クオドルブル 優勝

No.	区分	氏名	学部・研究科	内容
18	個人	佐々木 隆道	人間科学部	ラグビー蹴球部 主将 第41・42回全国ラグビー選手権大会 優勝
19	個人	土井 慎悟	人間科学部	第10回全日本スピードスケート距離別選手権大会 男子1500m 優勝
20	個人	中島 幸紀	人間科学部	第11回世界男子ソフトボール選手権大会 5位
21	個人	中野 祐介	人間科学部	第71・72回全日本学生卓球選手権大会 男子ダブルス 優勝
22	個人	馬場 亮輔	人間科学部	第23回ユニバーシアード 代表 2005トルコ/イズミル大会 体操競技男子団体総合 優勝
23	特別賞 個人	清宮 克幸	教育学部 1990年卒	2001～05年度 ラグビー蹴球部 監督 大学選手権(2002・04・05)優勝 他 「奥・井ノ上イラク子ども基金」 代表発起人

(以上)